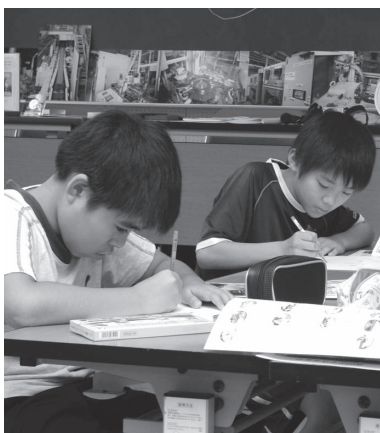


貨幣デザインに挑戦 造幣局がやってきた



9月11日、川越小学校の6年生約110人を対象に「造幣局1日デザイン教室」が開催されました。これは、地方自治法施行60周年を記念して発行される埼玉県の千円銀貨幣(同貨幣の申し込みは終了しています)のデザインが「渋沢栄一と時の鐘」であることにちなみ、独立行政法人造幣局が企画したもので、子どもたちにお金ができるまでの工程やデザインの描き方を分かりやすく説明し、貨幣に親しんでもらうことなどを目的として行われました。

参加した飯野航太郎くんは「お金がどのように作られているか知ることができて勉強になりました。初めて見た色付きの貨幣はきれいでした」。また、杉山葵さんは「絵を描くのはあまり得意では



大友那留さん

ないけれど、一生懸命描いたデザインは記念になるので、大切にします。普段からよく絵を描くという大友那留さんは「図鑑を見て動物をよく描いたり、絵を描くのが好きなので、今日の教室を楽しみにしていました。デザインは、いつも描いている絵と違って、絵柄や組み合わせを考えることがおもしろくて、完成したときはうれしかった」と笑顔で答えてくれました。

今回の記念貨幣をデザインし、講師を務めた造幣局工芸主事・松岡秀磨さんは「子どもの独創的なデザインには驚かされました。市のマスコットキャラクターを取り入れるなど、地元愛を持った視点での作品は素晴らしいと思います。将来この中から、貨幣デザイナーが誕生するかも知れませぬ」と話してくれました。

ひとまち

小江戸あるき

行って 会って 体験
気になるイベントや人を紹介



イクメンが集う場所「パパっこサロン」

中央公民館で開催されている「パパっこサロン」には、毎回多くのイクメン(育児をする男性)が参加します。

市との共催事業として同サロンを実施するNPO法人川越子育てネットワークは、出会いとつながりを大切にし、「顔の見える居場所づくり」を目指してさまざまな活動をしています。同ネットワークの本田倫江さんは、活動を始めたきっかけを「自分が子育て経験で感じた周囲への感謝がきっかけでした」と話します。子育てを続けながらの活動にもかかわらず、それを支える周りの仲間がいるから頑張れるそうです。

パパっこサロンを始めて4年目。参加するパパもだんだん増え、「娘と初めてデートをすることができました」という喜びの声が寄せられることもあるとか。



「夫婦で子育てを楽しんで、子どもと一緒に成長できるということを実感しています」と本田さん



この日は、子育てに関する意見交換のほか、手遊びや牛乳パック工作などが行われました

「ほかのお父さんと交流できてよかったです。機会があれば次回参加したいです」と話すのは永田誠人さん(的場)。また、宮崎隆士さん(六軒町)は「普段から育児を積極的にやるように心掛けています。始めのうちは大変だったので、だんだんと慣れてきました」。付き添いで参加していた妻の茜さんは「疲れているときなど家事や子守りを手伝ってもらえるとても助かります」と笑顔がこぼれます。

当日参加可能な「パパっこサロン」。次回は12月14日(日)、午前10時30分から中央公民館で開催予定です。